

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-1	家庭教育推進事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	吉田 邦紘
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類	2児童・青少年
	総合計画上の施策名	8 家庭・地域における青少年教育の充実・支援		
	施策名（評価単位）	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	乳幼児・児童の保護者を対象に家庭教育の学習機会を設け、家庭での子どもの教育を充実します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成30年度）	<p>○乳幼児家庭教育学級を開催しました。 年に11回、0～3歳の未就園児をもつ保護者を対象に、子育てについて自らテーマをもって学習する「たんぼぼ学級」の学習会を開催しました。</p> <p>○市内5小学校、2中学校、1園の家庭教育学級への支援を行いました。 各校・園に家庭教育学級の事業委託として、それぞれ3万円の補助金を交付しました。</p>

(2) 事務事業実施にかかるコスト <span style="float:right">(単位:円)</span>					
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
① 直接事業費	402,713	398,751	393,276	401,000	
② 人件費	2,080,000	4,080,000	2,925,000	2,925,000	
③ 合計コスト ①+②	2,482,713	4,478,751	3,318,276	3,326,000	
前年度比 (%)		180.4%	74.1%	100.2%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	7,500	9,500	10,700	17,000
	一般財源	2,475,213	4,469,251	3,307,576	3,309,000
④ 活動一単位当たりコスト	34,009.8	63,982.2	46,087.2	47,514.3	
前年度比 (%)		188.1%	72.0%	103.1%	
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	平成30年度：業務量の見直しにより、減少しました。				

(3) 活動指標	指標名	開催回数			単位:	回
	指標説明	家庭教育学級の開催回数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	73	70	72	70	

(4) 成果指標	指標名	家庭教育学級の学級生参加率			単位:	%	評価:	+
	指標説明	家庭教育学級学習会参加者/学級生数						
	目標値の設定方針	各家庭教育学級生の7割の参加率を目指します。						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	70	70	75	70			
	実績値	68.5	81.5	118				
	達成度 (%)	97.9%	116.4%	157.3%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>乳幼児学級では学級生（保護者）に重点を置いた学習会を開催しており、学級生にとって有意義な家庭教育学級が行われています。学級生の数の減少、学習内容のマンネリ化等を防ぐために、学級生の意見を取り入れた内容や学級生自身が講師となって指導する等の工夫をしています。家庭教育学級については、各学校・幼稚園で様々な活動が行われており、特に近年では長期休暇期間に家庭でルール作りなどをし、実践する在宅取組がほとんどの学校で定着しつつあります。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成元年4月
<p>市内各校・園に他校・他市の家庭教育学級の情報の提供。家庭での在宅取組を促進することで家庭教育を日常に普及させていきます。また、家庭教育学級の説明会や、美濃地区でのリーダー研修会を実施し、家庭教育への意識付けと推進を行います。乳幼児学級では学級生が育児について学ぶだけでなく、学級生自身も何か成長できるよう、自主的な運営を推進していきます。学級生の意見を参考に、みんなで楽しく学び、家庭で実践できるようにしていきます。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
<p>当事業は子育て世代からの評価も高く、今後も継続していく必要があります。家庭教育学級の参加者数・参加率を上げるために、積極的な情報収集を行い、各学級への情報提供を行います。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-2 青少年健全育成事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	平野 一彦
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類
	総合計画上の施策名	8 家庭・地域における青少年教育の充実・支援	
	施策名（評価単位）	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進	

2. 事務事業の目的	「大人が変われば、子どもが変わる」をスローガンにして、青少年の健全な育成を図ります。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成30年度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の小・中・高校生の代表11名による「わたしの主張美濃市大会」を開催しました。</li> <li>7月の青少年非行・被害防止全国強調月間に合わせ、夏休みに向けて講演会「スマホを安心して使うには」等「連合PTA研究大会&amp;青少年健全育成を考えるつどい」を開催しました。</li> <li>青少年育成「市民のつどい」を開催し、市民を対象にした善行表彰、「輝け！美濃の子どもたち～地域で育むこころの和～」をテーマに、講演会「日々は現場のアナウンサー～ふるさと美濃で学んだこと～」、中有知小児童のあいさつ活動や土幌町フレンドシップ交流事業発表等を交え、感性豊かで健全な心身の育成を図ることとし実施しました。</li> <li>少年補導センターによる街頭補導、非行防止活動、子ども会育成協議会、JLC活動の支援を実施しました。</li> </ul>

(2) 事務事業実施にかかるコスト		（単位：円）			
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
① 直接事業費	1,198,700	1,270,204	1,240,136	1,221,000	
② 人件費	4,880,000	8,080,000	6,375,000	6,375,000	
③ 合計コスト ①+②	6,078,700	9,350,204	7,615,136	7,596,000	
前年度比（％）		153.8%	81.4%	99.7%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	6,078,700	9,350,204	7,615,136	7,596,000
④ 活動一単位当たりコスト	607,870.0	1,335,743.4	1,269,189.3	1,085,142.9	
前年度比（％）		219.7%	95.0%	85.5%	
⑤ コストに関する増減理由（H30年度実績、R元年度見込）	人づくり団体推進室にて、事務業務体制の見直し等により、改善を図りました。				

(3) 活動指標	指標名	青少年育成推進委員会の開催回数			単位：	回数
	指標説明	青少年育成事業を進める上で核となる組織の活動状況				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	10	7	6	7	

(4) 成果指標	指標名	子ども育成講演会及び市民のつどい出席者数			単位：	人	評価：	+
	指標説明	青少年育成事業のなかで中心的な行事の出席者の状況						
	目標値の設定方針	青少年健全育成を考えるつどい100人、市民のつどい500人以上の参加を目指します。						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	500	500	500	500			
	実績値	472	420	300				
達成度（％）	94.4%	84.0%	60.0%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
夏休みに向けて「青少年健全育成を考えるつどい」を連合PTA研究大会とを合同開催し、情報の交換・共有を図るとともに、青少年育成「市民のつどい」及び「わたしの主張大会」を青少年健全育成事業の三本の柱として、それを補完する形で少年補導センターや子ども会などの活動を行ってきました。市民団体や青少年の参加意識の高揚を図り、市民協働型の実施、事業の定着化とともに、事業内容の見直しや充実を図り、地域連携と情報の共有を図りました。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和元年6月
市民団体や青少年育成団体を中心とした市青少年育成市民会議の組織を充実を図り、家庭、学校、市民団体、地域、警察と連携し、同じ思いに立って、市民総参加型で活動できる組織へと変革、地域での青少年環境づくりへの貢献と、教育・福祉の両面から青少年を健全に育成する仕組みづくりを再構築していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
三つの事業を中心に、市民総参加型の行事として内容を充実させるとともに、青少年の健全育成にかかわる福祉分野などとも連携し、母体となる青少年育成市民会議組織のあり方について再検討し、より良い青少年を健全に育成する仕組みづくりと組織改革を行い、住みよい環境づくりを充実させていきます。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-3	勤労青少年ホーム施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	古田 志保
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類	2児童・青少年
	総合計画上の施策名	8 家庭・地域における青少年教育の充実・支援		
	施策名(評価単位)	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	勤労青少年ホームを運営管理することにより勤労青少年の健全な育成と福祉増進を図ります。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	定期利用団体によるアマチュアバンド、ダンス、太鼓練習などの利用がありました。また、定期利用団体以外で各団体の練習会場や会議会場等としての使用がありました。 (開館日数272日)

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
① 直接事業費	1,636,482	2,181,302	1,868,193	1,896,000	
② 人件費	1,280,000	1,280,000	150,000	150,000	
③ 合計コスト ①+②	2,916,482	3,461,302	2,018,193	2,046,000	
前年度比 (%)		118.7%	58.3%	101.4%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	660,430	624,630	608,310	600,000
	一般財源	2,256,052	2,836,672	1,409,883	1,446,000
④ 活動一単位当たりコスト	3,340.8	4,512.8	2,557.9	2,589.9	
前年度比 (%)		135.1%	56.7%	101.2%	
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	平成30年度：業務量の見直しにより減少しました。				

(3) 活動指標	指標名	施設利用回数			単位:	回
	指標説明	各室の延べ利用回数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	873	767	789	790	

(4) 成果指標	指標名	利用延べ人員			単位:	人	評価:	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年度実績の102%以上						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	11,925	11,952	11,687	10,776			
	実績値	11,718	11,458	10,565				
達成度 (%)	98.3%	95.9%	90.4%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
定期利用団体等が継続的に利用し活発な活動が行われていますが、利用者数は僅かですが年々減少しています。また、施設が老朽化しており、安心して利用していただける対策が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
施設の老朽化が顕著であるため、緊急性の高いものから順次改善します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
市民を含め多くの利用があります。現状での利用者に不利益とならないよう、また美濃市公共施設等総合管理計画にある(仮称)市民わくわくふれあいセンターへの統合を見据え、適切な運営をしていきます。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-4	人権教育・啓発推進事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	古田 志保
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	1学校教育
	総合計画上の施策名	49 人権同和教育の推進		
	施策名(評価単位)	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	「美濃市人権教育・啓発の指針」に基づき、市民一人ひとりが人権に関するさまざまな課題について認識を深めるために、学校・地域・家庭・職場その他あらゆる場を通じて教育を行います。
------------	--

3. 事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権問題市民啓発講演会を開催しました。</li> <li>・地区公民館において、人権学習会を開催しました。</li> <li>・人権週間の活動を実施しました。</li> <li>・人権啓発講演会と「わたしのメッセージ展Ⅰ、Ⅱ」を開催しました。</li> <li>・人権問題交流会を2回開催しました。</li> </ul>
------------	--

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	528,120	566,813	566,861	647,000
② 人件費	2,080,000	1,040,000	825,000	900,000
③ 合計コスト ①+②	2,608,120	1,606,813	1,391,861	1,547,000
前年度比 (%)		61.6%	86.6%	111.1%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,608,120	1,606,813	1,391,861
④ 活動一単位当たりコスト	521,624.0	321,362.6	231,976.8	309,400.0
前年度比 (%)		61.6%	72.2%	133.4%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	平成29、30年度：業務量の見直しにより減少しました。			

(3) 活動指標	指標名	人権に関する市民啓発講演会の開催回数			単位:	回
	指標説明	市民に広く人権教育を推進するために行う市民啓発講演会の開催状況				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	5	5	6	5	

(4) 成果指標	指標名	人権問題市民啓発講演会参加人数		単位:	人	評価:	+
	指標説明	人権教育・啓発事業のなかで中心的な行事の出席者数の状況					
	目標値の設定方針	240人以上の参加を目指します					
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込		
	目標値	240	240	240	240		
	実績値	297	248	380			
達成度 (%)	123.8%	103.3%	158.3%				

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	市民啓発講演会などの実施により、市民に対し広く人権教育を実施し確実に成果を上げてきました。しかしながら、インターネット上での人権侵害など人権問題が複雑化しています。市民一人ひとりの人権への正しい理解と人権意識の高揚を図る必要があります。また、市民啓発講演会の参加者の拡大を図る必要があります。
----------	--

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
人権への正しい理解と人権意識の高揚を図るために、市民啓発講演会をより理解しやすく市民の要望に沿った内容とし、広報等により参加者を拡大します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
人権への正しい理解と人権意識の高揚は、人権教育を推進する上で重要な課題となります。さらに啓発・推進していくために、人権週間に行うメッセージ展の開催、地区別講演会など、各種行事の充実をします。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-5 梅山大学活動事業		担当課	人づくり文化課（中央公民館）
			作成者	嶺嶺修司
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	50 生涯学習振興と環境整備		
	施策名（評価単位）	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	高齢者が、生涯学習を通じてその年齢にふさわしい社会的能力を高め、教養を研鑽します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成30年度）	入学式・開講式および卒業式・閉講式の挙行。 中央研修として、日帰り研修、文化祭、講演会などを実施。 クラブ活動ごと、あるいは地区ごとに独自の活動を実施。 執行部会、運営委員会を開催して、自主的な運営を行いました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト <span style="float: right;">（単位：円）</span>				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	385,000	267,840	205,938	440,000
② 人件費	240,000	240,000	825,000	825,000
③ 合計コスト ①+②	625,000	507,840	1,030,938	1,265,000
前年度比（％）		81.3%	203.0%	122.7%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	625,000	507,840	1,030,938
④ 活動一単位当たりコスト	21,551.7	17,511.7	35,549.6	42,166.7
前年度比（％）		81.3%	203.0%	118.6%
⑤ コストに関する増減理由 （H30年度実績、R元年度見込）	平成30年度：事業費の増額、業務量の見直しによりコストが増加しました。 令和元年度：元号の改定により、卒業証書などをすべて新製するためコストが増加する見込みです。			

(3) 活動指標	指標名	中央研修会等の活動回数			単位：	回
	指標説明	中央研修会等の活動回数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	29	29	29	30	

(4) 成果指標	指標名	学生数		単位：	人	評価：	+
	指標説明	入学式時点での学生数					
	目標値の設定方針	前年度実績の100%					
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込		
	目標値	296	268	195	133		
	実績値	268	195	133			
達成度（％）	90.5%	72.8%	68.2%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
大学生、大学院生、助手で構成されているが、全体的に高齢化が進んでいます。高齢者のうちでも若い世代の人々は、こうした集まりに参加することをためらう人が多く、新入生が得られないため、全体として学生数が減少傾向にあります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
60歳代の方々を中心に、梅山大学への入学をさらに働きかけていきます。また、高齢消費者被害防止事業をさらに活用し、一層充実したプログラムとすることにより新入生の獲得を図ります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
高齢化時代を迎え、今後ますます元気な高齢者が増加していきます。元気な高齢者とその年齢にふさわしい社会的能力を高め、教養を研鑽していくためには、梅山大学活動を今後も続けていくべきです。		

今後の方向性	1. 継続	( 1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合 )
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-6 生涯学習推進事務事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	吉田 邦紘
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類
	総合計画上の施策名	50 生涯学習振興と環境整備	
	施策名(評価単位)	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進	

2. 事務事業の目的	「1市民・1芸・1スポーツ・1ボランティア」の実践に向け、市民のライフスタイルに合わせた、多様な生涯学習の提供と学習環境の充実を図ります。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規事業として、放課後子ども教室を中野区立小学校と大矢田小学校の2校区の公民館で実施しました。</li> <li>土曜の教育活動推進事業：森林文化アカデミーと連携して、子どもを対象にした木のワークショップを7地区で開催しました。</li> <li>いきいき保険：安心して生涯学習が行えるよう全市民を対象に市民活動災害補償保険に加入しました。</li> <li>生涯学習センターなど生涯学習施設の適正な維持管理に努めました。</li> </ul>

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	18,464,052	8,755,509	9,674,030	8,735,000
② 人件費	2,080,000	1,280,000	3,225,000	3,000,000
③ 合計コスト ①+②	20,544,052	10,035,509	12,899,030	11,735,000
前年度比 (%)		48.8%	128.5%	91.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	715,000
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	20,544,052	10,035,509	12,184,030
④ 活動一単位当たりコスト	1,712,004.3	313,609.7	314,610.5	221,415.1
前年度比 (%)		18.3%	100.3%	70.4%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	平成30年度：新規事業のため、事業費・人件費共に増加しました。 令和元年度：生涯学習施設管理経費の減少により、前年度からコストが減少しました。			

(3) 活動指標	指標名	子ども教室の開催回数				単位:	回
	指標説明	子どもを対象にした放課後や土日等の活動の回数					
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込		
	実績値	12	32	41	53		

(4) 成果指標	指標名	子ども教室の参加人数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	放課後や土日等の活動の参加人数							
	目標値の設定方針	1回あたり20名の出席							
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込				
	目標値	240	240	620	1,150				
	実績値	213	153	946					
達成度 (%)	88.8%	63.8%	152.6%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>新規事業として、放課後の子どもの居場所をつくる目的で、放課後子ども教室を2校区の公民館で開催しました。内容は概ね好評で、子どもたちが地域の人たちに見守られて活動することで繋がりができ、地域と子どもと学校が良好な関係性を築いていくためには必要な事業だと考えます。今後の課題として、スタッフとなる地域サポーターの確保や、他地区での開催を検討していく必要があります。</p> <p>土曜の教育活動推進事業「木をテーマとしたワークショップ」を7地区で開催しました。今後はこの事業から、地域の新たな展開や活性化に繋がっていくことが期待できると考えます。課題として、事業の周知を更に図っていくことや、マンネリ化を防ぐ意味でも前年度からの内容に変化を加えるなどの工夫が必要です。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
<p>ワークショップ内容の見直しと、地域事業として展開していくきっかけとなるような活動にしていきます。</p> <p>放課後子ども教室の地域サポーター確保と、子どもが安全安心に過ごせる居場所が1つでも多く提供できるよう、学校や地域と連携していきます。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
<p>放課後子ども教室の新規事業により参加者数が大きく増加しましたが、土曜の教育活動での参加者数の減少問題は解消されていないため、ワークショップの見直し等を行い、参加者の増加に繋がります。</p> <p>放課後子ども教室については、十分なサポーターを確保し、安心安全な居場所を提供していくことで、更なる参加者の増加に繋がります。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-7	図書館運営事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	古田 志保
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	52 図書館事業の充実		
	施策名(評価単位)	(36)生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	図書資料・情報の収集、施設の充実により「知の拠点」として、市民の学習機会の場に供します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	<p>専門化、細分化した図書や最新の情報に沿った図書を購入了ました。                  「はじめまして絵本（保健センター7ヵ月健康相談時）」で幼児期の読み聞かせの大切さやその方法を保護者に指導するとともに、定期的に開催する「おはなし会（読み聞かせ）」等で子どもに本に親しむ機会を提供し、子どもの読書活動を推進しました。                  移動図書館や古本市などを実施し、図書サービスの多様化を図りました。</p>

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	11,383,531	25,195,694	25,635,520	26,115,000
② 人件費	1,680,000	1,680,000	1,200,000	1,350,000
③ 合計コスト ①+②	13,063,531	26,875,694	26,835,520	27,465,000
前年度比 (%)		205.7%	99.9%	102.3%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	13,063,531	26,875,694	26,835,520
④ 活動一単位当たりコスト	45,676.7	94,300.7	91,902.5	95,364.6
前年度比 (%)		206.5%	97.5%	103.8%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明					
	実績値	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
		286	285	292	288	

(4) 成果指標	指標名	貸出冊数			単位:	冊	評価:	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上						
	目標値	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	実績値	79,487	75,200	71,110	71,470			
達成度 (%)	71,628	67,720	68,067					
	90.1%	90.1%	95.7%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	<p>築50年が経過し老朽化していること、及び、耐震診断の結果を踏まえて、早急に耐震工事、補修を実施する必要があります。                  また、貸出冊数が年々減少傾向にあります。</p>
----------	--

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
<p>安心安全に施設を利用していただけるよう、計画的な整備をしていきます。                  「おすすめ本」コーナー等の展示を工夫し、利用者の興味を促していきます。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
<p>図書館の利用目的は、学習、親子で絵本を見る等、人それぞれです。利用者のニーズに合わせた蔵書の更新や関係機関との連携を行い、利用しやすい環境の図書館にします。また、子どもの読書活動推進計画に基づき、子どもに本と親しむ機会を引き続き提供していくとともに、学校図書館と連携しながら、読書活動を推進します。</p>		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-8	成人式開催事業	担当課	人づくり文化課（中央公民館）
			作成者	嶺嶺修司
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	53 公民館事業の充実		
	施策名（評価単位）	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	成人式を開催し、社会生活での自立と自覚を促します。
------------	---------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成30年度）	美濃市文化会館で開催しました。各地区からの新成人実行委員を選出し、実行委員の企画立案により運営しました。新成人185名中170名の出席がありました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト <span style="float:right">(単位:円)</span>				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	379,855	386,691	334,697	453,000
② 人件費	1,680,000	1,680,000	1,950,000	2,325,000
③ 合計コスト ①+②	2,059,855	2,066,691	2,284,697	2,778,000
前年度比 (%)		100.3%	110.5%	121.6%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,059,855	2,066,691	2,284,697
④ 活動一単位当たりコスト	205,985.5	187,881.0	175,745.9	198,428.6
前年度比 (%)		91.2%	93.5%	112.9%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	令和元年度は、業務量の見直しにより人件費が増加しています。			

(3) 活動指標	指標名	成人式打ち合わせ会に出席した実行委員延べ数			単位:	人
	指標説明	成人式打ち合わせ会に出席した実行委員延べ数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	10	11	13	14	

(4) 成果指標	指標名	成人式出席者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	成人式に出席した新成人の数						
	目標値の設定方針	新成人100%の出席						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	235	184	202	190			
	実績値	196	170	168				
達成度 (%)	83.4%	92.4%	83.2%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	人生の節目に相応しい事業となるよう、問題点を洗い出し、改善につとめていかなければなりません。
----------	--

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
実行委員公募の告知を拡充し、新成人自らが企画運営する手作りの成人式であることを広くPRした上で開催します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
成人式は人生の節目の行事として全国各地で実施しています。美濃市では毎年、新成人が自ら実行委員会を組織し、成人式を企画運営しています。今後、成人年齢の引き下げも視野に入れつつ、新成人にふさわしい式典となるよう実行委員会と共に実施していきます。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)



事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-9 中央公民館運営補助事業		担当課	人づくり文化課（中央公民館）
			作成者	嶺嶺修司
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	53 公民館事業の充実		
	施策名（評価単位）	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	生涯学習を推進し、地域社会活動を促進するために中央公民館の運営管理をします。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成30年度）	美濃市中央公民館の職員は現在3名ですが、うち1名は梅山大学および美濃公民館の事務を主にしているため、中央公民館の事務については2名で行っています。 中央公民館の主催する生涯学習講座は22講座を計画し16講座が開催され、延べ2,229人の出席があり、この講座の成果を生涯学習フェスティバルで発表しました。 定期的に使用している団体は65団体があり、そのうち23団体が生涯学習団体作品展において活動の成果を発表しました。 その他貸館業務として1,225件ありました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト <span style="float:right">(単位:円)</span>					
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
① 直接事業費	11,562,970	10,888,274	10,545,064	12,530,000	
② 人件費	3,680,000	3,680,000	3,825,000	3,075,000	
③ 合計コスト ①+②	15,242,970	14,568,274	14,370,064	15,605,000	
前年度比 (%)		95.6%	98.6%	108.6%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	1,762,000	1,591,460	1,709,180	1,579,000
	一般財源	13,480,970	12,976,814	12,660,884	14,026,000
④ 活動一単位当たりコスト	725,855.7	766,751.3	898,129.0	917,941.2	
前年度比 (%)		105.6%	117.1%	102.2%	
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	平成30年度：講座の回数が減少したことによりコストが増加しました。				

(3) 活動指標	指標名	生涯学習講座開催講座数			単位:	講座
	指標説明	生涯学習講座開催講座数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	21	19	16	17	

(4) 成果指標	指標名	生涯学習講座参加延べ人数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	生涯学習講座参加延べ人数						
	目標値の設定方針	生涯学習講座当初募集定員延べ人数						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	4,302	3,747	3,817	3,307			
	実績値	2,563	2,061	2,229				
達成度 (%)	59.6%	55.0%	58.4%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
<p>建築後30年以上経過し、建物も設備も老朽化して、使用する市民に不便をかけることもあります。いつも便利に利用できる公民館を維持していかなければなりません。 生涯学習講座の数や開催した講座の数は、近年ほとんど変わっていませんが、その内容は変化しております。今後も市民が本当に望んでいる講座の発掘など、講座内容をよく吟味することが必要となっております。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
<p>講座受講生、公民館利用者、講師依頼予定者、新講座の講師希望者など、各方面からの要望を反映させた講座を計画します。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
<p>公民館は市民の学習の場としてなくてはならない施設であり、より適切な管理運営をします。 生涯学習講座は初心者を対象としているにもかかわらず、くりかえし受講を希望する受講生が多くあることから、市民に定着している事業となっています。自主的な生涯学習活動への入口として、さらに市民の要望に沿ったメニューを取り入れていきます。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-10	市美術展事業	担当課	人づくり文化課（中央公民館）
			作成者	嶺嶺修司
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	53 公民館事業の充実		
	施策名（評価単位）	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	美術展の開催により、水準の高い文化を創造します。
------------	--------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成30年度）	6部門（洋画、日本画、彫塑・工芸、書、写真、和紙画）126作品の出展がありました。その中から市展賞、市長賞、教育長賞、優秀賞、奨励賞、入選を選考し、美術展最終日に表彰を行いました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト <span style="float: right;">（単位：円）</span>				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	279,402	283,561	308,127	336,000
② 人件費	1,680,000	1,680,000	1,950,000	2,325,000
③ 合計コスト ①+②	1,959,402	1,963,561	2,258,127	2,661,000
前年度比（％）		100.2%	115.0%	117.8%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,959,402	1,963,561	2,258,127
④ 活動一単位当たりコスト	653,134.0	654,520.3	752,709.0	887,000.0
前年度比（％）		100.2%	115.0%	117.8%
⑤ コストに関する増減理由 （H30年度実績、R元年度見込）				

(3) 活動指標	指標名	美術展代表者（審査員）打合せ会開催回数			単位：	回
	指標説明	美術展代表者（審査員）打合せ会開催回数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	3	3	3	3	

(4) 成果指標	指標名	出展数		単位：	点	評価：	+
	指標説明	出展数					
	目標値の設定方針	前年度実績の100%以上					
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込		
	目標値	149	132	125	126		
	実績値	132	125	126			
達成度（％）	88.6%	94.7%	100.8%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	市内のみならず、他県や他市町村からの応募もありますが、出展数が横ばい状態となっています。
----------	--

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
ホームページや広報等で広く一般に公募案内をするとともに、昨年の出品者にも出展依頼を行います。出品作品の申し込み方法の便宜を図るため、今年もFAXによる申し込みを可能とします。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
全体としての出展者数は減少傾向にあり、その中で他市町からの出展者が増加しています。美術展としての展示会でなく、部門ごとの展示会等の方法も検討する必要があります。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-11	地区公民館施設管理事業	担当課	人づくり文化課（中央公民館）
			作成者	嶺嶺修司
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	53 公民館事業の充実		
	施策名（評価単位）	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	生涯学習を推進し、地域社会活動を促進するために地区公民館の運営管理をします。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成30年度）	洲原、上牧、大矢田、藍見、中有知の5公民館の管理運用がスムーズに行われるよう、需用費、役務費、管理人委託料などを負担し、これらが適正に使用されるよう指導します。

(2) 事務事業実施にかかるコスト <span style="float:right">(単位:円)</span>					
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
① 直接事業費	5,990,900	11,185,788	6,150,244	12,693,000	
② 人件費	1,120,000	1,120,000	1,950,000	2,325,000	
③ 合計コスト ①+②	7,110,900	12,305,788	8,100,244	15,018,000	
前年度比 (%)		173.1%	65.8%	185.4%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	305,140	324,100	282,450	316,000
	一般財源	6,805,760	11,981,688	7,817,794	14,702,000
④ 活動一単位当たりコスト	1,422,180.0	2,461,157.6	1,620,048.8	3,003,600.0	
前年度比 (%)		173.1%	65.8%	185.4%	
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	平成29年度は下水道接続工事、令和元年度はトイレの改修工事により事業費が増加しています。				

(3) 活動指標	指標名	使用料を公民館予算へ納付している地区公民館数			単位:	館
	指標説明	使用料を公民館予算へ納付している地区公民館数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	5	5	5	5	

(4) 成果指標	指標名	地区公民館の自主事業数			単位:	事業	評価:	+
	指標説明	地区公民館の自主事業数						
	目標値の設定方針	前年度の100%以上						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	125	130	120	116			
	実績値	125	120	116				
達成度 (%)	100.0%	92.3%	96.7%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
<p>現在、美濃市には地区公民館7館と中央公民館があり、それぞれ活動を行っています。地区公民館は地域ふれあいセンターに併設されたものと、地域ふれあいセンターを併設しているものがあり、そのどちらも、地域コミュニティーの場として地域づくり活動、生涯学習活動、各種団体活動など、地域活動の拠点となる機能の充実が必要です。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
<p>自治会活動、各種団体活動、生涯学習活動などに積極的に取り組み、地域の身近な活動拠点となるよう機能の充実と利用を促進していきます。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
<p>地区公民館は地域ふれあいセンターとしての機能も有しており、地域活動の拠点として適正な管理運営を継続します。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-12	市体育館施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	平田 匠
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名（評価単位）	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、市体育館を適正に維持管理します。
------------	--

3. 事務事業の実績	(1) 事業の実施内容（平成30年度） 美濃市体育館・洲原体育館・大矢田体育館の3施設の管理 ・体育施設管理業務委託 ・清掃委託 ・消防設備点検業務委託 ・浄化槽保守点検業務委託 ・光熱水費など
------------	---

(2) 事務事業実施にかかるコスト <span style="float: right;">（単位：円）</span>					
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
① 直接事業費	3,286,617	3,833,396	2,432,105	4,406,000	
② 人件費	880,000	825,000	825,000	825,000	
③ 合計コスト ①+②	4,166,617	4,658,396	3,257,105	5,231,000	
前年度比（％）		111.8%	69.9%	160.6%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	679,510	895,820	695,590	688,000
	一般財源	3,487,107	3,762,576	2,561,515	4,543,000
④ 活動一単位当たりコスト	13,528.0	15,124.7	10,609.5	16,983.8	
前年度比（％）		111.8%	70.1%	160.1%	
⑤ コストに関する増減理由（H30年度実績、R元年度見込）	平成30年度は工事が少なかったが、令和元年度は美濃市体育館の修繕を行うため事業費が増加する見込み。				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位：	日
	指標説明	体育館の開館日数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	308	308	307	308	

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数			単位：	人	評価：	+
	指標説明	体育館を利用した人数						
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	30,000	30,000	30,000	30,000			
	実績値	29,320	30,278	29,275				
達成度（％）	97.7%	100.9%	97.6%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	安全に使用できるよう維持管理を実施しました。施設が老朽化しており、修繕が必要な箇所も多くあり、優先順位をつけた計画的な修繕が必要です。利用者数については、昨年より減少しましたが、多くの団体が体育館を利用しております。
----------	--

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
美濃市内の体育館を安全安心に使用できるよう維持管理を適正に実施するとともに、修繕が必要な箇所を優先順位をつけて修繕していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
適性に維持管理するとともに、老朽化した施設を優先順位をつけ計画的に修繕します。		

今後の方向性	1. 継続	( 1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合 )
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-13	各地区グラウンド施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	平田 匠
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名（評価単位）	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、地区グラウンドを適正に維持管理します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成30年度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下牧・御手洗・大矢田・藍見・中有知の5箇所のグラウンドの管理業務委託</li> <li>・光熱水費など</li> <li>・グラウンドの土の補給</li> </ul>

(2) 事務事業実施にかかるコスト <span style="float:right">(単位:円)</span>					
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
① 直接事業費	817,976	1,871,089	1,014,519	1,165,000	
② 人件費	880,000	880,000	825,000	825,000	
③ 合計コスト ①+②	1,697,976	2,751,089	1,839,519	1,990,000	
前年度比 (%)		162.0%	66.9%	108.2%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	9,000	10,190	4,320	5,000
	一般財源	1,688,976	2,740,899	1,835,199	1,985,000
④ 活動一単位当たりコスト	4,729.7	7,663.2	5,124.0	5,543.2	
前年度比 (%)		162.0%	66.9%	108.2%	
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)					

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明	利用可能な日				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	359	359	359	359	

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数		単位:	人	評価:	+
	指標説明	御手洗グラウンドの利用者数					
	目標値の設定方針	前年度実績以上					
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込		
	目標値	9,000	9,000	11,000	11,000		
	実績値	9,543	9,697	11,235			
達成度 (%)	106.0%	107.7%	102.1%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
各グラウンドを安全安心に使用できるよう維持管理を実施しました。施設が老朽化しており、各所で修繕が必要なことが課題です。利用者数については堅調に推移しております。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
修繕が必要な箇所については、優先順位をつけて、修繕を行っていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
市民が利用しやすいグラウンドとするため、適正に維持管理をしていきます。修繕が必要な箇所については、優先順位をつけ、計画的な修繕を行っていきます。		

今後の方向性	1. 継続	( 1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合 )
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-14	和紙の里スポーツ広場施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	平田 匠
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、和紙の里スポーツ広場を適正に維持管理します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託管理業務委託</li> <li>・電気設備保守点検業務委託</li> <li>・浄化槽清掃点検業務委託</li> <li>・光熱水費など</li> </ul>

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
① 直接事業費	5,493,944	5,756,966	7,706,932	5,409,000	
② 人件費	880,000	880,000	825,000	825,000	
③ 合計コスト ①+②	6,373,944	6,636,966	8,531,932	6,234,000	
前年度比 (%)		104.1%	128.6%	73.1%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	1,766,100	1,985,640	1,857,510	1,820,000
	一般財源	4,607,844	4,651,326	6,674,422	4,414,000
④ 活動一単位当たりコスト	20,694.6	21,548.6	27,791.3	20,240.3	
前年度比 (%)		104.1%	129.0%	72.8%	
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	平成30年度は照明灯等電気設備の修繕を実施したため、直接事業費が増加しています。				

(3) 活動指標	指標名	開館日数	単位:	日	
	指標説明				
	実績値	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
		308	308	307	308

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数	単位:	人	評価:	+
	指標説明	施設の年間利用者数				
	目標値の設定方針	前年度実績以上				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	目標値	12,000	13,000	13,000	13,000	
	実績値	11,812	11,967	12,403		
達成度 (%)	98.4%	92.1%	95.4%			

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
安全に使用できるよう施設の維持管理を実施しました。施設全体が老朽化しており計画的な修繕が必要です。利用者数については、堅調に推移しております。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
優先順位をつけ、計画的に修繕をしていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
利用しやすい施設にするために、老朽化した施設を計画的に修繕していきます。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-15	運動公園施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	平田 匠
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、運動公園を適正に維持管理します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動公園管理業務委託</li> <li>・テクノパーク・テニスコート管理業務委託</li> <li>・浄化槽維持管理業務委託</li> <li>・電気設備保安管理業務委託</li> <li>・貯水槽点検清掃・水質検査業務委託</li> <li>・光熱水費など</li> </ul>

(2) 事務事業実施にかかるコスト <span style="float: right;">(単位:円)</span>					
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
① 直接事業費	16,637,312	12,743,221	26,807,836	11,101,000	
② 人件費	880,000	880,000	825,000	825,000	
③ 合計コスト ①+②	17,517,312	13,623,221	27,632,836	11,926,000	
前年度比(%)		77.8%	202.8%	43.2%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	1,587,260	1,484,600	1,122,060	1,588,000
	一般財源	15,930,052	12,138,621	26,510,776	10,338,000
④ 活動一単位当たりコスト	56,874.4	44,231.2	89,717.0	38,720.8	
前年度比(%)		77.8%	202.8%	43.2%	
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	平成30年度は、美濃市運動公園テニスコートの人工芝張替を実施したため、直接事業費が増加しています。				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明	運動公園の開館日数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	308	308	308	308	

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	運動公園の年間利用者数						
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	28,000	31,000	30,000	30,000			
	実績値	30,332	27,506	22,371				
達成度(%)	108.3%	88.7%	74.6%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>老朽化した施設の修繕を行うとともに、安全に使用できるよう施設の維持管理を実施しました。施設全体が老朽化しており、計画的な修繕が必要です。利用者が減少しており、利用しやすい施設とすることが必要です。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
<p>老朽化した施設が多い為、優先順位をつけ、計画的な修繕を検討していきます。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
<p>利用しやすい施設にする為に優先順位をつけて老朽化した施設を修繕していきます。</p>		
今後の方向性	<p>1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)</p>	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-16	台山ヒロック施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	平田 匠
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、台山ヒロックを適正に維持管理します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	・台山ヒロックのポンプ及びトイレの電気料金、トイレの上下水道料

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
① 直接事業費	2,005,369	650,050	3,176,395	760,000	
② 人件費	880,000	880,000	825,000	825,000	
③ 合計コスト ①+②	2,885,369	1,530,050	4,001,395	1,585,000	
前年度比 (%)		53.0%	261.5%	39.6%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	15,500	19,720	16,930	17,000
	一般財源	2,869,869	1,510,330	3,984,465	1,568,000
④ 活動一単位当たりコスト	9,368.1	4,967.7	12,991.5	5,146.1	
前年度比 (%)		53.0%	261.5%	39.6%	
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	平成30年度は、防球ネット改修工事を実施したため、直接事業費が増加しています。				

(3) 活動指標	指標名	開館日数	単位:	日	
	指標説明	利用可能日数			
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
	実績値	308	308	308	308

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数	単位:	人	評価:	+
	指標説明	台山グラウンド年間利用者数				
	目標値の設定方針	前年度実績以上				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	目標値	16,100	18,000	18,000	18,000	
	実績値	15,143	15,551	14,302		
達成度 (%)	94.1%	86.4%	79.5%			

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
主としてサッカー競技者が利用しています。施設の老朽化が進んでいること、備品が老朽化していることから、優先順位をつけた修繕が必要です。利用者については堅調に推移しております。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
老朽化している箇所、備品を把握し、計画的に修繕、備品購入し利用者の利便性向上を図ります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
利用者の利便性向上のために、計画的な修繕及び備品の購入をしていきます。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------



事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-17	市民プール施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	須田雅士
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名（評価単位）	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、市民プールを適正に維持管理します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成30年度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民プール監視等管理業務委託</li> <li>・プールスライダー・管理棟屋上防水修繕</li> <li>・光熱水費の支払い</li> </ul>

(2) 事務事業実施にかかるコスト <span style="float:right">(単位:円)</span>					
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
① 直接事業費	15,028,597	12,648,095	12,451,486	13,322,000	
② 人件費	880,000	880,000	825,000	825,000	
③ 合計コスト ①+②	15,908,597	13,528,095	13,276,486	14,147,000	
前年度比 (%)		85.0%	98.1%	106.6%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	1,152,560	936,120	976,950	968,000
	一般財源	14,756,037	12,591,975	12,299,536	13,179,000
④ 活動一単位当たりコスト	345,839.1	307,456.7	295,033.0	314,377.8	
前年度比 (%)		88.9%	96.0%	106.6%	
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)					

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明	プールの開館日数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	46	44	45	45	

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	プールの年間利用者数						
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	9,500	9,500	9,500	9,500			
	実績値	8,504	7,156	6,113				
達成度 (%)	89.5%	75.3%	64.3%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
利用者が安全安心して利用できるよう維持管理を行いました。施設が老朽化が著しく、大規模なりニューアル工事または、廃止を含めた検討が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
ウォータースライドの滑走面の塗装の剥がれがあり、安全上問題である為、修繕を行いました。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
市民の憩いの場として多くの利用者が来場されますが、施設の老朽化が著しく、大規模なりニューアル工事の検討が必要です。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-18	夜間学校開放施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	平田 匠
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、各小中学校体育館を適正に維持管理します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	・学校開放体育館6ヵ所の維持管理（鍵の貸出業務は委託で実施）

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
① 直接事業費	300,000	875,640	254,000	600,000	
② 人件費	880,000	880,000	825,000	825,000	
③ 合計コスト ①+②	1,180,000	1,755,640	1,079,000	1,425,000	
前年度比 (%)		148.8%	61.5%	132.1%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	219,360	210,830	189,184	223,000
	一般財源	960,640	1,544,810	889,816	1,202,000
④ 活動一単位当たりコスト	3,277.8	4,876.8	2,997.2	3,958.3	
前年度比 (%)		148.8%	61.5%	132.1%	
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	修繕の有無により直接事業費が増減します。				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	開館日数
	指標説明					
	実績値	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
		360	360	360	360	

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
	目標値	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	実績値	51,000	51,000	51,000	51,000			
達成度 (%)	53,885	52,807	44,908					
	105.7%	103.5%	88.1%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	適正な維持管理を実施しました。 ジュニアクラブの利用計画が学校から報告されるのが前の月の20日前後のため、他の利用希望者（団体）が早期予約をする際に支障がでています。効率的な予約管理を検討する必要があります。
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
体育館利用団体が同一種目の場合は、合同で使用するよう勧めます。 美濃小、中有知小、美濃中の体育館は2面利用できるので、2団体の利用を依頼していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
利用団体が増加傾向のため、利用日時の調整や合同利用等の対策を進めスポーツの振興を促します。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-19	体育施設改修等事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	平田 匠
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	老朽化及び損傷した体育施設を修繕し、利用者の安全確保とスポーツ振興及び市民の健康づくりを促進します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美濃市体育館・洲原体育館・大矢田体育館</li> <li>・曾代テニスコート・和紙の里テニスコート・テクノパークテニスコート</li> <li>・曾代グラウンド・和紙の里スポーツ広場グラウンド・各地区グラウンド</li> <li>・市民球場・市民プール</li> <li>・生涯学習施設体育館・各学校体育館</li> </ul> 以上体育施設の緊急的な修繕を行う。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
① 直接事業費	1,240,050	1,162,629	997,431	1,046,000	
② 人件費	880,000	880,000	825,000	825,000	
③ 合計コスト ①+②	2,120,050	2,042,629	1,822,431	1,871,000	
前年度比 (%)		96.3%	89.2%	102.7%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	282,030	271,050	248,566	290,000
	一般財源	1,838,020	1,771,579	1,573,865	1,581,000
④ 活動一単位当たりコスト	6,838.9	6,631.9	5,936.3	6,074.7	
前年度比 (%)		97.0%	89.5%	102.3%	
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)					

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明					
	実績値	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
		310	308	307	308	

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
	目標値	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	実績値	100,000	100,000	105,000	155,000			
達成度 (%)	104.7%	102.2%	146.8%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
施設全体が老朽化しており、緊急性のあるものを修繕しました。修繕が必要な箇所が多いため、計画的な修繕が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
優先順位をつけて緊急性のあるものより修繕を実施していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
老朽化により修繕が必要な箇所が多数あります。優先順位をつけ緊急度の高い箇所から修繕をしていきます。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-21	スポーツ推進委員活動事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	須田雅士
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名（評価単位）	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ振興のため、スポーツの実技指導及びその他スポーツに関する指導助言を行います。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成30年度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種スポーツ教室の開催</li> <li>地区、県、東海四県、全国研究大会の参加</li> <li>各種スポーツ大会の協力及び講習会の開催</li> </ul>

(2) 事務事業実施にかかるコスト <span style="float: right;">（単位：円）</span>				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	1,563,426	1,421,476	2,025,066	1,990,000
② 人件費	1,280,000	1,280,000	975,000	975,000
③ 合計コスト ①+②	2,843,426	2,701,476	3,000,066	2,965,000
前年度比（％）		95.0%	111.1%	98.8%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,843,426	2,701,476	3,000,066
④ 活動一単位当たりコスト	568,685.2	540,295.2	600,013.2	593,000.0
前年度比（％）		95.0%	111.1%	98.8%
⑤ コストに関する増減理由（H30年度実績、R元年度見込）				

(3) 活動指標	指標名	研修会回数			単位：	回
	指標説明					
	実績値	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
		5	5	5	5	

(4) 成果指標	指標名	研修会参加人数			単位：	人	評価：	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
	目標値	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	実績値	70	70	70	70			
達成度（％）	97.1%	97.1%	95.7%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
<p>研修会の参加率が良好です。 各地区から2名の委員が選出されていますが、半数の地区で1期（2年）で2人とも変わっています。今後は、交互に代わるような調整をする必要があります。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
<p>委員会で開催案内を電話、ファクスのほかSNSを活用しながら、委員との連絡が取りやすい手法で連絡をとり出席を促します。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
<p>スポーツ推進委員は、市全体の生涯スポーツの普及や市の目指す市民の体力向上に寄与しています。また、各地区において、公民館活動、体育振興会、体育推進委員会のメンバーとして、市と市民のパイプ役を担っています。今後も、積極的に参画して、地区における生涯スポーツ振興と市のスポーツのあり方等について助言をしていただきます。</p>		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-22	各種体育大会開催事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	須田雅士
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	「1市民1スポーツ」の実現を目指して各種体育市民大会を開催します。
------------	-----------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	市民健康福祉ゴルフ大会開催により、スポーツとの出会いの場の提供と市民の健康増進を推進しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	260,000	130,000	500,000	1,250,000
② 人件費	880,000	880,000	825,000	825,000
③ 合計コスト ①+②	1,140,000	1,010,000	1,325,000	2,075,000
前年度比 (%)		88.6%	131.2%	156.6%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,140,000	1,010,000	1,325,000
④ 活動一単位当たりコスト	1,140,000.0	1,010,000.0	1,325,000.0	1,037,500.0
前年度比 (%)		88.6%	131.2%	78.3%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	平成30年度は、補助大会の変更による事業費の増額、令和元年度は、補助大会の増加によるコストの減額となっています。			

(3) 活動指標	指標名	補助大会数			単位:	回
	指標説明					
	実績値	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
		1	1	1	2	

(4) 成果指標	指標名	参加者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年実績以上						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	250	250	250	250			
	実績値	192	198	95				
達成度 (%)	76.8%	79.2%	38.0%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
市民大会に合わせ、多くの方に知ってもらうため教室を開催しました。高齢者のみならず、若い方にも参加してもらえました。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
多くの参加者が得られるように、PRの手法や運営方法を見直していく必要があります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
市民大会を各種開催しているが、年々参加者が減少しているため、種目の検討、開催時期や会場の変更等、大会の運営方法の見直しを検討します。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-23	体育協会補助事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	須田雅士
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	55	スポーツ団体と指導者の育成	
	施策名（評価単位）	(37)	生涯スポーツの推進	

2. 事務事業の目的	スポーツの普及と競技スポーツの振興、市民の健康づくりに寄与することを旨とする体育協会を支援してスポーツ活動の正しい普及発展を図ります。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成30年度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民大会の開催</li> <li>競技種目団体への育成費・強化費の助成</li> <li>機関紙の発行</li> <li>優秀指導者、優秀選手の表彰</li> <li>ツアー・オブ・ジャパン美濃ステージの開催</li> <li>スポーツ少年団への助成金交付</li> <li>特別強化事業の開催</li> <li>全国大会出場者激励会の開催</li> </ul>

(2) 事務事業実施にかかるコスト <span style="float:right">(単位:円)</span>				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	1,394,000	1,394,000	1,394,000	1,394,000
② 人件費	880,000	880,000	825,000	825,000
③ 合計コスト ①+②	2,274,000	2,274,000	2,219,000	2,219,000
前年度比 (%)		100.0%	97.6%	100.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,274,000	2,274,000	2,219,000
④ 活動一単位当たりコスト	151,600.0	142,125.0	170,692.3	170,692.3
前年度比 (%)		93.8%	120.1%	100.0%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	市民大会開催数				単位:	回
	指標説明						
	実績値	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込		
		15	16	13	13		

(4) 成果指標	指標名	県民スポーツ大会参加者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針								
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込				
	目標値	135	135	135	135				
	実績値	125	95	114					
達成度 (%)	92.6%	70.4%	84.4%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
少子化、人口減少並びに競技の多種多様化等により県民スポーツ大会への出場選手及び市民大会の参加チーム数が減少傾向にあります。出場選手及び参加者数の増加及び競技力向上に向けた取り組みが必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
協会所属の競技団体へ育成を中心とした強化及び底辺の拡大を促します。 ・スポーツ少年団またはジュニアクラブの募集 ・多種多様な初心者教室また体験教室の開催		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
協会所属の競技団体の中には、世代交代または後進選手・指導者の育成ができていない団体もあり、小学生、中学生時からの指導育成がなされ、高校または大学卒業後に競技団体において中心選手として、晩年は指導者として活躍できるような形態となる環境を整備していきます。各競技団体にて底辺の拡大が、市民スポーツの向上、競技力向上、健康増進につながるようにします。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-24	スポーツ少年団活動補助事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	平田 匠
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	55	スポーツ団体と指導者の育成	
	施策名(評価単位)	(37)	生涯スポーツの推進	

2. 事務事業の目的	スポーツ少年団の普及と育成及び活動の活性化を図り、青少年にスポーツを振興し青少年の心身の健全な育成を図ります。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流大会（5年生団員による宿泊研修）</li> <li>・母集団研修会</li> <li>・一日体験入団</li> <li>・指導者・育成者表彰式及び「優秀団・優秀団員」表彰式</li> <li>・認定員養成講習会</li> </ul>

(2) 事務事業実施にかかるコスト <span style="float: right;">(単位:円)</span>				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	363,000	363,000	363,000	363,000
② 人件費	1,680,000	1,680,000	1,200,000	1,200,000
③ 合計コスト ①+②	2,043,000	2,043,000	1,563,000	1,563,000
前年度比 (%)		100.0%	76.5%	100.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,043,000	2,043,000	1,563,000
④ 活動一単位当たりコスト	408,600.0	408,600.0	312,600.0	312,600.0
前年度比 (%)		100.0%	76.5%	100.0%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	平成30年度に業務量を見直したことにより、人件費が減額しています。			

(3) 活動指標	指標名	美濃市スポーツ少年団本部事業			単位:	回
	指標説明	美濃市スポーツ少年団本部において実施した事業				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	5	5	5	5	

(4) 成果指標	指標名	美濃市スポーツ少年団本部事業参加者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	美濃市スポーツ少年団本部事業に参加した人数						
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	160	160	200	200			
	実績値	122	168	184				
達成度 (%)	76.3%	105.0%	92.0%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	スポーツ少年団登録者が減少傾向にある為、体験入団等を通じて団員加入率の減少に歯止めをかけることが課題です。
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
指導者・育成者に研修会への参加を呼びかけるとともに、日時設定についても平日の夜間は避け、土日で行います。また、体験入団等を通じて実際に各スポーツを体験し、スポーツ少年団員の増加が見込めるイベントを行います。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
指導者・育成者向けの研修日は土日等、参加しやすい日時にします。新規団員獲得に向け、体験入団等を実施していきます。また、各種スポーツを保護者にもPRし、スポーツ少年団を理解してもらう取組をしていきます。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-25	スポーツ振興事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	須田雅士
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	55	スポーツ団体と指導者の育成	
	施策名(評価単位)	(37)	生涯スポーツの推進	

2. 事務事業の目的	スポーツ教室の企画・運営、各種スポーツ大会のマネジメントを実施してスポーツ振興を図ります。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種スポーツ大会のマネジメント</li> <li>各種スポーツ教室の開催</li> <li>体育施設の貸出、料金徴収</li> <li>NPO法人うだつアップクラブへの業務委託</li> </ul>

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	6,150,585	6,150,456	6,150,481	6,151,000
② 人件費	880,000	880,000	825,000	825,000
③ 合計コスト ①+②	7,030,585	7,030,456	6,975,481	6,976,000
前年度比 (%)		100.0%	99.2%	100.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	7,030,585	7,030,456	6,975,481
④ 活動一単位当たりコスト	2,343,528.3	2,343,485.3	2,325,160.3	2,325,333.3
前年度比 (%)		100.0%	99.2%	100.0%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	スポーツ大会数			単位:	回
	指標説明					
	実績値	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
		3	3	3	3	

(4) 成果指標	指標名	スポーツ施設利用者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年度実績						
	目標値	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	実績値	80,000	80,000	80,000	80,000			
達成度 (%)	84,338	83,032	77,183					
	105.4%	103.8%	96.5%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
<p>少数の人員で、貸館業務を的確にこなし、利用者から信頼があります。施設の維持管理の委託が大変厳しい状況であるので、現状の見直しが必要です。スポーツ教室の企画運営を検討する必要があります。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
<p>平成25年度より独自の企画運営のスポーツ教室・大会などを実施しているが、新たな計画しスポーツの普及・啓発を図る必要があります。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
<p>総合型地域スポーツクラブ「美濃うだつアップクラブ」の運営方法を具体的に検討し、将来的に独立運営していくために事業規模を拡大します。又、他の委託事業との整合性も考慮し、事業統合も考えます。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	



事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-26	ツアー・オブ・ジャパン美濃ステージ開催補助事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	須田雅士
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	56	競技スポーツの支援	
	施策名（評価単位）	(37)	生涯スポーツの推進	

2. 事務事業の目的	自転車国際ロードレースツアー・オブ・ジャパンを開催し、スポーツ振興と自転車普及促進を図るとともに、美濃市を自転車のまちとしてPRします。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成30年度）	・ ツアー・オブ・ジャパン美濃ステージの開催

(2) 事務事業実施にかかるコスト <span style="float:right">(単位:円)</span>					
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
① 直接事業費	9,000,000	9,850,000	9,800,000	11,000,000	
② 人件費	1,280,000	1,280,000	1,050,000	1,050,000	
③ 合計コスト ①+②	10,280,000	11,130,000	10,850,000	12,050,000	
前年度比 (%)		108.3%	97.5%	111.1%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	3,000,000	3,850,000	3,800,000	3,800,000
	一般財源	7,280,000	7,280,000	7,050,000	8,250,000
④ 活動一単位当たりコスト	25,700.0	29,444.4	28,477.7	30,125.0	
前年度比 (%)		114.6%	96.7%	105.8%	
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)					

(3) 活動指標	指標名	ボランティア数			単位:	人
	指標説明					
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	400	378	381	400	

(4) 成果指標	指標名	観客数			単位:	人	評価:	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	30,000	30,000	30,000	31,000			
	実績値	26,000	15,000	31,000				
達成度 (%)	86.7%	50.0%	103.3%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
<p>レースがメディアに取り上げられることにより、美濃市をPRすることができました。 午前9時から午後1時頃までの通行規制があり、レースコースの沿線住民の理解は得られていますが、業者やゴルフ場利用者等、TOJの開催を知らない車両への対応の検討をする必要があります。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
<p>事業費削減のため、大口の協賛企業に対し、市への寄付金へ移行していただくことを推奨していきます。 平成28年度から、愛三工業レーシングチームが美濃市のホームチームとなり、多くの市民が選手と交流し、ツアー・オブ・ジャパンとレースについて理解してもらうことにより、市全体でチームを応援し大会を盛り上げていきます。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
<p>大会運営をNPOの独自運営へ向けて協力し、大会運営に当たります。</p>		
今後の方向性	1. 継続 <span style="margin-left: 100px;">( 1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合 )</span>	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-27	文化会館運営事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	古田 志保
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	3文化・芸術
	総合計画上の施策名	57 文化芸術の振興と市民活動の支援		
	施策名（評価単位）	(38) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	舞台芸術を中心とした公演を実施・誘致して、市民の文化力を向上を図ります。
------------	--------------------------------------

3. 事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全安心な施設をめざして、設備の定期点検を行うとともに、2階トイレの洋式化等改修工事を実施しました。</li> <li>舞台での催し物において、出演者も鑑賞者も満足するよう、舞台技術業務を専門業者に委託しました。</li> <li>市民の芸術文化発表のために、文化協会を核にした芸能大会を開催しました。</li> <li>自主事業として「トーク&amp;ライブ加藤登紀子歌がたりin美濃」、「チャーリー西村のおもしろサイエンスショー」、ワークショップ「やって みの!」、美濃市民音楽劇「瓜コ姫コとアマンジャク」、「乳母がふところ」、「美濃ファンタスティックフェア」を開催しました。</li> <li>年間を通じて「みの あ〜と いんふお」の作品展及びワークショップを開催しました。</li> </ul>
------------	--

(2) 事務事業実施にかかるコスト <span style="float: right;">（単位：円）</span>				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	3,116,880	39,478,200	53,652,890	49,879,000
② 人件費	880,000	480,000	450,000	450,000
③ 合計コスト ①+②	3,996,880	39,958,200	54,102,890	50,329,000
前年度比（%）		999.7%	135.4%	93.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	3,996,880	39,958,200	54,102,890
④ 活動一単位当たりコスト	9,516.4	92,495.8	136,969.3	125,822.5
前年度比（%）		972.0%	148.1%	91.9%
⑤ コストに関する増減理由 （H30年度実績、R元年度見込）	平成30年度は2階トイレの改修工事を行ったため直接事業費が増額しています。			

(3) 活動指標	指標名	文化会館利用数			単位：	回
	指標説明	年間の延べ使用回数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	420	432	395	400	

(4) 成果指標	指標名	市内人口に対する来館者、入場者数割合			単位：	%	評価：	+
	指標説明	年間延べ来館者、入場者数÷年度末人口×100						
	目標値の設定方針	前年度と同率以上						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	実績値	109.4	129.3	112.3				
達成度（%）	104.2%	123.1%	86.4%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	<p>市内唯一の文化ホールであり、市民の文化芸術活動の基盤として、常に満足できる設備と態勢を保つ必要があります。文化芸術活動に対する市民からの要望は多様化、細分化しているため、情報収集と対応力の向上が求められています。</p>
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
<p>施設、設備の老朽化が著しいため、今後も継続して計画的に改修、更新を行います。 市民の要望に応えられる自主事業の展開ができるよう、アンケートの実施や様々なチャンネルを通じて要望調査を行います。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
<p>市内唯一の文化ホールとして、文化の向上に寄与してきました。 施設の適切な維持管理、舞台設備の改修等、多額の経費が必要になるため、優先順位をつけながら長期計画に基づいて実施します。 平成25年度から移行した指定管理者制度も5年が経過し、平成30年度から引き続き指定を行いました。今後も更なる文化向上を目指し事業展開を行います。</p>		
今後の方向性	1. 継続 <span style="margin-left: 100px;">（1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合）</span>	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-28	芸術文化協働推進事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	古田 志保
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	3文化・芸術
	総合計画上の施策名	57 文化芸術の振興と市民活動の支援		
	施策名(評価単位)	(38) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	市民協働による文化芸術活動の促進及び支援し、文化芸術及び文化力の向上を図ります。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	市民文化の向上を目的に設立された「NPO法人 四つ葉のコウゾ」に事業を委託し、協働事業として市内各団体と連携しながら、“ウタガキ・美濃”と銘打って年間で6回、市内各所でコンサート等の開催、各団体への協力を実施し、幅広く活動を展開しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
② 人件費	480,000	480,000	450,000	450,000
③ 合計コスト ①+②	1,480,000	1,480,000	1,450,000	1,450,000
前年度比 (%)		100.0%	98.0%	100.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,480,000	1,480,000	1,450,000
④ 活動一単位当たりコスト	185,000.0	211,428.6	207,142.9	145,000.0
前年度比 (%)		114.3%	98.0%	70.0%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	令和元年度は催し物の開催予定数回数が前年度より増加しているため、一単位当たりコストが減っています。			

(3) 活動指標	指標名	開催回数			単位:	回
	指標説明	コンサート等催し物の開催回数				
	実績値	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
		8	7	7	10	

(4) 成果指標	指標名	延べ来場者			単位:	人	評価:	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上						
	実績値	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	達成度 (%)	1,500	1,500	1,540	1,030			
	1,483	1,459	980					
	98.9%	97.3%	63.6%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	市民・地域団体との協働による音楽やパフォーマンスを開催し、地域の活性化と市民の文化力を高めることができました。今後も、市民の要望に即したものを、市内全域にわたり実施していくことが必要です。
----------	--

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
各団体との情報交換により、さらに効果的に協働できるようにします。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
うだつの上がる町並みほか市内で、6回のコンサート等を実施しました。市民や観光客の癒しのひと時を提供し、美濃のアーティストや団体の活動を広報する機会になりました。今後も、各団体等と調整しながら継続して事業展開を行います。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：平成30年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-31	市内遺跡発掘調査事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	石井里英
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	60 文化財の保護・保全と活用		
	施策名(評価単位)	(38) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	各種開発に伴う試掘・本調査や保存目的の測量・発掘調査等を行い、遺跡の保全・保護をします。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	各種開発に伴う試掘調査 11件・182㎡ 工事立会 1件 保存目的の測量・発掘調査 2件・30㎡ 区画整理に伴う本調査 1件・65㎡ 道路改良に伴う本調査 1件・304㎡

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
① 直接事業費	10,026,380	14,409,895	10,085,630	17,734,740	
② 人件費	2,080,000	2,080,000	1,905,000	1,950,000	
③ 合計コスト ①+②	12,106,380	16,489,895	11,990,630	19,684,740	
前年度比		136.2%	72.7%	164.2%	
財源内訳	国・県支出金	2,080,000	5,031,000	4,394,000	4,572,000
	市債	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	10,026,380	11,458,895	7,596,630	15,112,740
④ 活動一単位当たりコスト	12,253.4	7,417.9	24,928.5	22,889.2	
前年度比		60.5%	336.1%	91.8%	
⑤ コストに関する増減理由	30年度は試掘件数・工事立会いの依頼状況は前年同様ですが、区画整理・道路改良に伴う本調査面積が29年度より減少したため、事業費が減少しています。元年度は昨年度と比較し、調査面積が増加しているため、事業費が増加しています。				

(3) 活動指標	指標名	調査面積			単位:	㎡
	指標説明	各種開発や保存に伴う調査				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	988	2,223	481	860	

4. 評価・課題	各種開発に伴う調査は義務的なものであり、30年度も開発事業者の工期に配慮し、迅速に事前調査を行えました。保存目的の調査は史跡の範囲確認を進めています。墳丘の確認作業も開始し、盛土の状況を確認しています。
----------	---

5. 具体的な改善内容	改善時期	令和元年10月
各種開発に伴う調査は工期に配慮し、工事着工に遅れが出ないように迅速に行います。保存目的の調査については範囲及び形状の確認を行い、保存方法を検討します。		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
開発に伴う事前確認調査については、今後も開発事業を円滑に進めるため、遅滞なく進めていきます。保存目的調査については、新しく得られた知見を市民へ公開し、文化財に対する理解を得ながら保護を進めていきます。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-32	民俗文化財記録保存事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	三島美奈子
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	60	文化財の保護・保全と活用	
	施策名(評価単位)	(38)	文化活動の促進	

2. 事務事業の目的	民俗資料を収集し郷土資料として整え、歴史学習、生涯学習に活用します。
------------	------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	過去に収集を行った民俗資料を整理し、保管及び展示準備を行いました。国重文指定をめざし、和紙関係資料の充実と分類を進めています。台帳作成及び資料の図化作業を中心に進めました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	2,707,677	2,547,587	2,095,395	920,000
② 人件費	1,680,000	1,680,000	1,200,000	1,200,000
③ 合計コスト ①+②	4,387,677	4,227,587	3,295,395	2,120,000
前年度比 (%)		96.4%	77.9%	64.3%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	4,387,677	4,227,587	3,295,395
④ 活動一単位当たりコスト	666.7	642.0	500.4	321.9
前年度比 (%)		96.3%	77.9%	64.3%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	現在は展示、図面作成が中心となっており、原則資料収集は行っていないため事業費が減少しています。			

(3) 活動指標	指標名	資料点数	単位:	点	
	指標説明	収集資料点数			
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
	実績値	6,581	6,585	6,585	6,585

(4) 成果指標	指標名	未整理資料点数	単位:	点	評価:	-
	指標説明	収集資料点数-整理済点数				
	目標値の設定方針	未整理資料が前年度以下になるよう設定				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	目標値	4	4	0	0	
	実績値	4	4	0		
達成度 (%)	100.0%	100.0%	-			

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	収集・整理は順調に進んでいます。将来に向けての保護・保存について検討が必要です。一般公開が可能な施設は整備されたため、収集した資料の展示に工夫が必要です。
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
収集した資料については順次図化を行っています。また、展示については、テーマを決め、収集した資料をなるべく多く市民へ公開できるよう、計画的に行っていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
収集整理はほぼジャンルを網羅した感があります。和紙製作関連の資料整理も進んでおり、文化庁と連携しての保護施策に取り組んでいきます。収集については、和紙関係資料の中で不足しているものについて行います。また、収集資料については、展示変えを行いながら広く市民へ公開します。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-33	市指定文化財修理等補助経費	担当課	人づくり文化課
			作成者	石井里英
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	60	文化財の保護・保全と活用	
	施策名（評価単位）	(38)	文化活動の促進	

2. 事務事業の目的	市民の財産である文化財を保護・保全・伝承していくため、市指定文化財の修理・修復を行います。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成30年度）	市指定文化財の修理に対し、美濃市文化財保護費補助金交付要綱にもとづき補助金を交付します。 ・薬師如来坐像保存修理 ・瀧神社仏像保存修理事業

(2) 事務事業実施にかかるコスト <span style="float:right">(単位:円)</span>				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	127,000	0	233,000	645,000
② 人件費	2,480,000	1,680,000	1,575,000	1,575,000
③ 合計コスト ①+②	2,607,000	1,680,000	1,808,000	2,220,000
前年度比 (%)		64.4%	107.6%	122.8%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,607,000	1,680,000	1,808,000
④ 活動一単位当たりコスト	1,303,500.0	—	904,000.0	2,220,000.0
前年度比 (%)		—	—	245.6%
⑤ コストに関する増減理由 (29年度実績、30年度見込)	指定文化財の修理の有無、修理内容によりコストに変動があります。令和元年度は2件対応中です。			

(3) 活動指標	指標名	市指定文化財修理件数			単位:	件
	指標説明					
	実績値	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
		2	0	2	1	

(4) 成果指標	指標名	市指定文化財修理件数			単位:	件	評価:	+
	指標説明	市指定文化財の損傷箇所を修理することによって文化財という財産を次代に伝える						
	目標値の設定方針	前年度にあった文化財の修理件数						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	3	0	2	2		2	
	実績値	2	0	2				
達成度 (%)	66.7%	—	100.0%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	市指定文化財のうち、祭礼関係のものは次年度（4月）の祭礼に間に合うよう要望される傾向があります。緊急な修理については柔軟な予算対応が必要です。
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和元年10月
計画的な修理が行えるよう、所有者との連絡を適宜取れるようにします。日頃から指定文化財の状態を確認し、修理計画を立てます。緊急を要するものについては、迅速な修理を行えるよう調整を行います。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
要望があるものについて着実に修理が行われています。今後も計画的に修理等を行います。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-34	指定文化財保存整備事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	石井里英
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	60	文化財の保護・保全と活用	
	施策名(評価単位)	(38)	文化活動の促進	

2. 事務事業の目的	市民の財産である文化財を保護・保全・伝承していくため、県指定文化財の修理・修復を支援します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	県指定文化財保護費補助金交付要綱にもとづき補助金を交付。 ・洲原神社中央本殿保存修理

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	9,453,000	10,596,000	7,500,000	9,871,000
② 人件費	2,480,000	1,680,000	1,575,000	1,575,000
③ 合計コスト ①+②	11,933,000	12,276,000	9,075,000	11,446,000
前年度比 (%)		102.9%	73.9%	126.1%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	11,933,000	12,276,000	9,075,000
④ 活動一単位当たりコスト	3,977,666.7	3,069,000.0	9,075,000.0	2,861,500.0
前年度比 (%)		77.2%	295.7%	31.5%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	指定文化財の修理内容によりコストに変動があります。令和元年度は1件対応中です。			

(3) 活動指標	指標名	県指定文化財修理件数			単位:	件
	指標説明					
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	3	4	1	4	

(4) 成果指標	指標名	県指定文化財修理件数			単位:	件	評価:	+
	指標説明	県指定文化財の損傷箇所を修理することによって文化財という財産を次代に伝える						
	目標値の設定方針	前年度にあった文化財の修理件数						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	3	2	1	4			
	実績値	3	4	1				
達成度 (%)	100.0%	200.0%	100.0%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
県指定文化財の修理は県の採択数で補助決定するため、すべて採択されるわけではありませんが、事業内容を精査し、緊急を要するものについては、迅速な修理が行えるよう調整を行っています。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和元年10月
計画的な修理が行えるよう、指定文化財の状況等、所有者との連絡を適宜取れるようにします。修理内容によっては長期間にわたるものもあるため、専門家も交え、修理計画をたてます。また、昨今みられるような集中豪雨による倒壊など緊急を要するものについては、迅速に対応できるようにします。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
要望があるものについて着実に修理が行われています。今後も計画的に修理等を行います。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-39	美濃和紙用具ミュージアム施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	三島美奈子
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	60	文化財の保護・保全と活用	
	施策名（評価単位）	38	文化活動の促進	

2. 事務事業の目的	美濃和紙産業を支える用具類及び民俗資料を展示し、次世代へと継承します。
------------	-------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用業務（観覧者受付、案内、体験業務等）</li> <li>施設清掃業務（体育館、グラウンド除く）</li> <li>収蔵資料管理（整理、展示品入替え）</li> </ul>

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費			5,928,293	6,371,000
② 人件費			1,200,000	1,200,000
③ 合計コスト ①+②	0	0	7,128,293	7,571,000
前年度比 (%)		—	皆増	106.2%
財源内訳	国・県支出金		0	0
	市債		0	0
	その他特定財源		59,510	84,000
	一般財源	0	0	7,068,783
④ 活動一単位当たりコスト	—	—	33,309.8	24,823.0
前年度比 (%)		—	皆増	74.5%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	令和元年度は入館料等が増額する見込みであるため、コストが減少しています。			

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明	美濃和紙用具ミュージアムふくべの開館日数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値			214	305	

(4) 成果指標	指標名	入館者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	美濃和紙用具ミュージアムふくべの入館者数						
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値			1,500	1,500			
	実績値			1,498				
達成度 (%)	—	—	99.9%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
平成21度から収集を開始した美濃和紙用具等の恒久的展示施設として平成30年7月に「美濃和紙用具ミュージアムふくべ」をオープンしました。今後はより多くの方に来館していただくためPRが必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
定期的な展示の入替えや小学校への周知活動を行なっていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸智也
美濃和紙用具等の民俗資料は、後世に伝承すべき貴重な資料であります。また、美濃和紙の里会館、美濃手すき和紙の家にも隣接しており相乗効果が期待できるため、相互連携を図り積極的にPRしていきます。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)



事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-35	文化遺産活用推進事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	高木宏和
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	63 歴史文化基本構想の推進		
	施策名（評価単位）	(38) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	市内に点在する文化財を指定・未指定にかかわらず幅広くとらえ、周辺環境までを含めて、総合的に保存・活用するための構想を策定する。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成30年度）	歴史文化基本構想策定委員会の開催。 構想策定のための文化財悉皆調査（古文書・文献・棟札・祭礼・伝統行事） 曾代用水関係資料、田中家所蔵文書、西部家文書、相生町祭礼記録、大矢田伊瀬祭礼当本帳などの文献調査・解説を実施しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
① 直接事業費	9,030,000	14,153,402	14,866,211	19,871,000	
② 人件費	1,680,000	1,280,000	1,200,000	5,700,000	
③ 合計コスト ①+②	10,710,000	15,433,402	16,066,211	25,571,000	
前年度比 (%)		144.1%	104.1%	159.2%	
財源内訳	国・県支出金	5,491,000	4,253,000	4,398,000	6,296,000
	市債	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	5,219,000	11,180,402	11,668,211	19,275,000
④ 活動一単位当たりコスト	63,000.0	89,729.1	93,954.5	149,538.0	
前年度比 (%)		142.4%	104.7%	159.2%	
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	令和元年度事業内容に文化財保存活用地域計画報告書作成費が含まれているため、コストが増加しました。				

(3) 活動指標	指標名	調査、講演会等			単位:	日
	指標説明	悉皆調査、講演会などの活動日数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	170	172	171	171	

(4) 成果指標	指標名	調査件数、講演、実演件数			単位:	件	評価:	+
	指標説明	悉皆調査、講演会、実演件数						
	目標値の設定方針	基礎データ等の件数						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	920	950	1,200	920			
	実績値	920	923	914				
達成度 (%)	100.0%	97.2%	76.2%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	歴史文化基本構想の基礎的資料の収集及びデータベース化として文化財悉皆調査事業を実施したが、文化財保存団体・地域住民・自治会との連携により、調査事業を一体的に進めることができました。 文化財保護法改正に伴い、歴史文化基本構想を文化財保存活用地域計画に移行しましたが、今後盛り込む文化財保護活用のための措置の検討が必要です。
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
引き続き市内に点在する歴史的資料や文化財等の悉皆調査を行い、文化財保存活用地域計画（歴史文化基本構想）の策定に必要な資料収集をします。 今後計画に盛り込む事業の洗い出しを行います。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸智也
市内に所在する文化財を観光資源として活用し、観光客受入体制の整備や文化財周辺環境整備のために計画の策定は必要です。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：平成30年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-37 町並み保存整備事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	三島美奈子
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類 4文化財
	総合計画上の施策名	62 重要伝統的建造物群保存地区と周辺地区の保全	
	施策名（評価単位）	(38) 文化活動の促進	

2. 事務事業の目的	伝統的建造物群保存地区内の歴史風致を維持し、伝統的・歴史的な景観を向上させます。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成30年度）	<p>3件の修理に対し、補助金執行事務を行いました。                  [補助割合]                  伝統的建造物指定建造物8/10（限度額 600万円）、非指定建造物6/10（限度額400万円）                  （国補助1/2、市補助1/2）                  小坂家主屋 6,000千円、武藤家主屋 4,732千円、事務費 50千円                  小坂家主屋 6,000千円（H29年度繰越） 合計 16,782千円</p>

(2) 事務事業実施にかかるコスト <span style="float:right">(単位:円)</span>					
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
① 直接事業費	12,781,000	17,439,000	16,782,000	20,392,000	
② 人件費	2,480,000	1,280,000	1,200,000	1,575,000	
③ 合計コスト ①+②	15,261,000	18,719,000	17,982,000	21,967,000	
前年度比		122.7%	96.1%	122.2%	
財源内訳	国・県支出金	6,390,000	8,719,000	11,391,000	10,196,000
	市債	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	8,871,000	10,000,000	6,591,000	11,771,000
④ 活動一単位当たりコスト	3,815,250.0	2,674,142.9	5,994,000.0	3,138,142.9	
前年度比		70.1%	224.1%	52.4%	
⑤ コストに関する増減理由	各年度の修理対象により事業費が増減します。				

(3) 活動指標	指標名	修理・修景実施数				単位:	件
	指標説明	該当地区内において補助金を交付して実施した建築物の修理・修景事業の実施件数					
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込		
	実績値	4	7	3	7		

4. 評価・課題	<p>事務事業内容のほとんどが、建築設計・監理・査定であり、本物の景観を後世に伝えていくために技術面での吟味が必要であると同時に、専門の知識を習得した者が担当できる体制を整える必要があります。</p> <p>また、美濃市における補助制度の開始は、消費税率5%であった平成11年であり、その後に消費税率8%への変更になっても補助金額の上限（伝建物600万円、非伝建物400万円）を改正しておらず、施主の費用面での負担軽減対策（例えば、角地の建物は外観延長・面積が多く、工事費が増大する。）を講ずる必要があります。</p>
----------	---

5. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
<p>住民からの要望件数増加に対応できる、財政的措置の拡充が必要であります。</p>		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
<p>美濃市美濃町伝統的建造物群保存地区は、観光施策・文化財保護の施策の中核であり、今後継続的に実施していく必要があります。</p>		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：平成30年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-38 町並み保存事業	担当課	人づくり文化課	
		作成者	三島美奈子	
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	62 重要伝統的建造物群保存地区と周辺地区の保全		
	施策名(評価単位)	(38) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	伝統的建造物群保存地区の保存啓発・PRのため、市民団体の育成に努めます。
------------	--------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	市民団体「美濃の町並みを愛する会」「町並み案内ボランティア」への活動補助金執行事務等を行いました。 美濃の町並みを愛する会 91千円 町並み案内ボランティア 200千円

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	291,000	458,654	892,495	545,000
② 人件費	2,480,000	1,280,000	1,200,000	1,200,000
③ 合計コスト ①+②	2,771,000	1,738,654	2,092,495	1,745,000
前年度比		62.7%	120.4%	83.4%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,771,000	1,738,654	2,092,495
④ 活動一単位当たりコスト	16,300.0	10,227.4	14,531.2	12,118.1
前年度比		62.7%	142.1%	83.4%
⑤ コストに関する増減理由	・平成30年度に、町並み保存事務経費で施設修繕を行いました。			

(3) 活動指標	指標名	会員数			単位:	人
	指標説明	2つの市民団体の会員数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	170	170	144	144	

4. 評価・課題	会員の高齢化に伴い、会員数が減少傾向にあることから、若者の入会促進のための事業を実施しましたが会員数は減少しました。
----------	--

5. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
町並みを訪れる観光客の、観光時間に合わせた案内コース等のメニューを充実させ、旅行事業者等に積極的に働きかけると同時に、ボランティア育成のための事業拡充が必要であります。		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	早戸 智也
美濃市美濃町伝統的建造物群保存地区は、美濃市の観光施策の中心となるものであり、ボランティア育成並びに会員増のため今後も継続して運営補助していく必要があります。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------